

令和6年3月31日

東御市議会議長

中村真一様

会派名 しんせいの会

代表者氏名 花岡豊一

令和5年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

交付金額	360,000	円
支出金額	406,025	円
差引金額	-46,025	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科目	決算額	政務活動費充当額	説明
調査研究費	396,701	350,676	
研修費			
広報費			
広聴費			
要望・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費	9,324	9,324	市議会会議録代
人件費			
事務所費			
計	406,025	360,000	

(実施事業)

事業名	事業内容
会派行政視察 調査研究	1、コロナ架における中央行政の考え方及び現状を知る。・災害時の対応について新しい取り組みの調査研究 1、移住定住施策の事業取組の参考にするため先進的取り組みの自治体を視察。 1、地域連携による取り組みについて農商工連携と福祉・教育の地域振興。・サイクリングでの観光振興。・農産物のブランド化による地域振興の先進自治体を視察。

政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	視察研修
実施日	2024年1月24.25.26日
参加議員	花岡豊一・村山弘子・斉藤 哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

地域連携の取り組みについて <u>サイクリングでの観光振興</u> 農商工連携と福祉・教育の地域振興 農産物のブランド化推進等に関する取り組みについて <u>ブランド化による地域振興</u>
--

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃	佐久平⇄東京	31,760
	航空券+宿泊代	JAL便限定割引含む	116,100
	レンタカー		26,800
	旅行業務取扱料金		6,600
	視察先謝礼	視察先土産代 @3,240円×3ヶ所	9,720
合計			190,980

実施日時	令和6年1月24日(水) 13時00分～14時30分
視察場所及び 部局等	香川県琴平町役場 議会事務局・農政課・社会福祉協議会
視察事項	ガーリック娘の取り組み(6次産業)
報 告 内 容	<p>(1) 研修会概要</p> <p>琴平町は香川県の南西部に位置する。町域の西側が、標高524mの象頭山の山裾に沿う。金刀比羅宮の鳥居前町として観光が主産業であり、全国門前町サミットにも参加している。ニンニクの大産地でもあり、その加工品の取り組みに注目が集まっている。</p> <p>(2) 研修内容について</p> <p>○ガーリック娘(ことひらにんにく)の経緯について</p> <p>にんにく生産者、食品加工業、観光業が抱えるそれぞれの課題解決に向けた取組みを、香川県の農商工連携に係るマッチング活動の後押しもあり、商品化までに結びつけたものです。商品のコンセプトのひとつに障害者に自立支援の場を提供することとしており、収益金の一部を販売元の社会福祉協議会に繰り入れています。</p> <p>商品「ガールちっぷ」も事業展開のひとつの取組みです。</p> <p>○農商工連携と福祉・教育の現状と今後について</p> <p>開発までに係わる人それぞれの課題と対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にんにく生産者 <p>規格外のにんにくの有効利用(それまでは全て廃棄されていた)</p> ・(株)高橋商店 <p>青森県産のにんにくでガーリックオイルの生産をしていたが原材料費・輸送費に苦心する中、県内産のことひらにんにくに着眼、皮をむきスライスした形での納品を希望する</p> ・町社会福祉協議会 <p>障害者の自立支援のための機会の創出→障がい者によるにんにくの加工に着目</p> <p>皮むき機の製作(市販されている物がない)や作業員の肌荒れが深刻な問題となるが、苦心して加工に向けた機械を業者と共同開発するなど、時間をかけてひとつひとつ改善してきた</p> ・町観光協会 <p>琴平町オリジナルの特産品の創出(金毘羅さん以外の特産品を作りたいという想い)</p> ・善通寺第一高校(デザイン科) <p>現場の生きた教材を活用した授業の導入(ネーミングやラベルの制作)</p> ・今後について <p>民間事業者から新たな引き合いもあるが、商業ベースの拡大、原材料(にんにく)の需要拡大に向けた取組みは限界があるものの、できるだけ需要拡大を積極的に模索している</p>

(3) 所感・市政に活かせること

町の特産品を農商工、更には福祉や教育まで参画しての6次産業化は大変素晴らしいと言える。どちらかという社会福祉協議会の方が積極的に動いて一連の流れを作り上げたことは、東御市に置き換えて考えた場合には奇跡と言えるのではないかと。

(当時の農政課の課長と社協の代表がたまたま同級生だったことが最大の要因と言える)

東御市にもたくさんの特産品があるが、商品そのまま出荷しているものが非常に多い。

くるみ・ぶどう・米・馬鈴薯・とうもろこし・牛肉・鶏肉等々、規格外の取り扱いの難しい品を障がい者の手を用いて加工品として生まれ変わらせることは、これからの時代のあらゆるニーズを取り入れることに繋がる大切な事業だと考えます。

関係部署に働きかけて実現に向けた行動を計画していきたいと思えます。

琴平町庁舎にて



実施日時	令和6年1月25日 13時30分～15時00分
視察場所及び 部局等	今治市サンライズ糸山 総合政策部 交流振興局サイクルティ推進課
視察事項	今治市サイクルシティ推進計画について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>愛媛県の北東部に位置し、高縄半島の東半分を占める陸地部と、芸予半島の南半分からなる。タオル等の地場産業として発展するとともに、西瀬戸自動車道の開通により中四国の交流、流通の拠点となった。</p> <p>平成17年1月16日の合併により、人口約18万人となり、四国で4県都に次いで5番目、県下で第2の都市に生まれ変わった。風光明媚な景観と、歴史遺産を誇る観光都市として、また造船、海運都市として重要性を高めている。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>◎今治市は推進している「今治市サイクルシティ推進計画」の概要と現状を現地視察も含めお話を聞いてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念は・・・ <p>市民、事業者及び行政が協働して自転車の活用推進に努め、交通ルール遵守・マナー向上などにより、誰もが安全に安心して自転車を利用できるまちづくりを進めるとともに、愛媛県が提唱する「自転車文化」を推進し、市民生活の質の向上を図る。を基盤とした、様々な取り組み方法をお聞きしたり、実際の自転車置き場を見たりしてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画区域は・・・ <p>今治市内（しまなみ海道・愛媛マルゴト自転車道・四国一周サイクリングコースについては市域を跨ぐ）ではあるが、実際に利用しやすいように自転車の乗り捨てのシステムや市域を跨いだ連携がしっかりできている状況を説明していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間は、 <p>長期的な展望を視野に入れつつ策定の日から2025年度まで（国の計画改定に合わせ見直しを行う）となっている。長期計画をしっかりと、道路整備や住民理解住民浸透を丁寧にやっている様子が伝わってくる施策を学ばせてもらった。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>自転車の台数がとにかく多くてすごかった。しかも、その自転車は電動自転</p>

車、3人乗り、子ども用、シニア用等々いろんな種類を大きな倉庫に入れてあり、そこへ観光客がレンタルに来るようにシステム化されていた。ちょうど私たちが視察に行った時も新しい電動自転車が届いていた。それを、事業者も含め一緒に点検整備していた。

休日にはレンタル希望者が列を作っているということをお聞きした。

また、その横には公営の宿泊施設もあり、とても安く泊まれるようになっていた。

他には、市民の理解を得るまでの地道な苦労話も聞かせていただいた。その努力が少しずつ広がっていることもお聞きし、市民の多くが自転車を利用して生活していることも大切な広がりのひとつだと思った。

これらのことを生かしつつ、現在市が、まだ台数は少しだが自転車の観光利用を進めている中で、住民の理解、サイクリングロードの整備、広域の連携、業者との連携等それぞれ必要なことを長期計画で進め、観光に使えるといいと感じた。

先進地としての今治の実践を現地をしっかりと見つつ丁寧に部署の苦労話を含めお話いただき、とても有意義な視察となった。

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.2)

サンライズ糸山にて 新型レンタサイクル



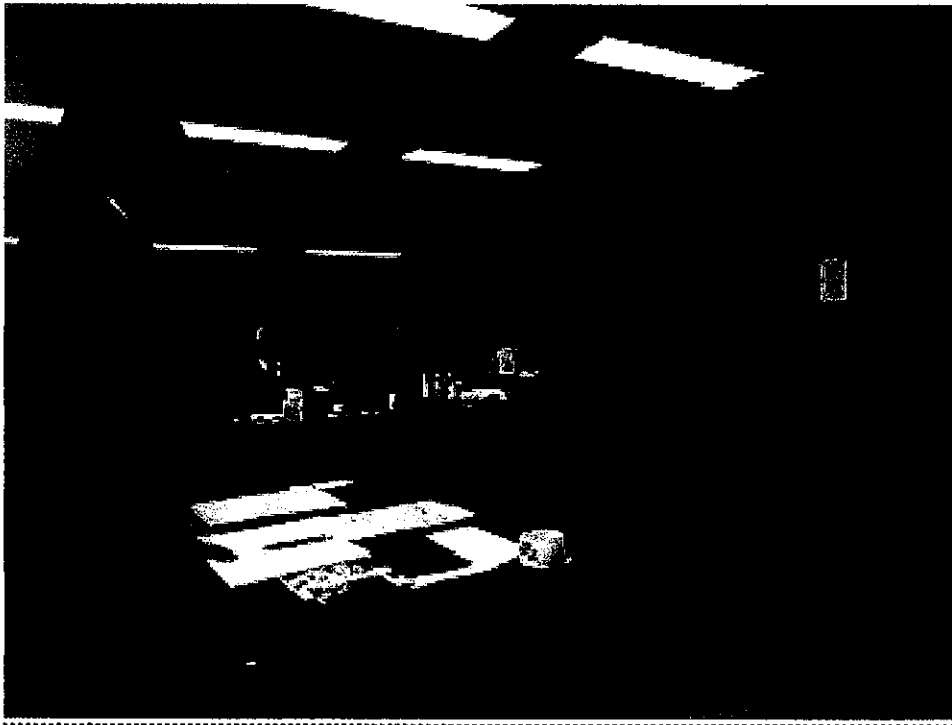
3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 3)

実施日時	令和6年1月26日 10時00分～11時30分
視察場所及び 部局等	愛媛県松山市議会 会議室 議会事務局、産業経済部、農水振興課
視察事項	農産物のブランド化推進等に関する取り組みについて
報告 内容	<p>(1) 視察先概要 松山市は、市街地の三方を山岳に囲まれた松山平野の北側に位置し、海側は優れた景観から国立公園の指定も受けている。気候は温暖で日照時間も全国平均を大きく上回り、降水量は1300mmと全体的に少なめである。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化の推進の経緯について ・ブランド化による地域振興の現状について ・現在の利用状況と今後の進め方はどうか <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>ブランド化の取り組みの始まりには農産物等で市場価格が収穫量により変動し、収入が安定しないなどの課題がありその中であって、生産量は少ないが、品質にこだわって栽培された品物は安定した収入を確保できていること。消費者のニーズが変化して来たことの気づきであった。</p> <p>松山市の「愛 上品」とブランド名が付く品物は、農産産物に限らず、水産物等も認定されている、このことは生産者の商品に対する「想い」が強く込められた高品質で安全・安心な地元産であることの証明である。このことは地域の魅力や価値の再発見にもつながること、また消費者や生産者など関係者が感じるブランドに対する安心感と信頼感を創出しブランド力が強化されている。</p> <p>視察先での取り組みはJAが大きくかかわってブランド化の推進をしていることは当市も同様である。</p> <p>今後の取り組みの中でデジタルを使って消費者と生産者やブランドの魅力を接続することは重要である。この機会に再接続して市の魅力を伝え、また地域産物のこだわりを市が後押しすることで生産者個人のブランドと地域の魅力発信が繋がるような仕組みが必要である。このことは、個々の生産者が自家販売できる環境で継続して消費者が当市とのつながりを持つことは、更なる生産者の想いの醸成とブランド化の実現を目指せるのではないかと感じた。</p> <p>当市においても「想い」を持って取り組んでいる生産者との連携の場を持ち、発信の機会が増え、生産意欲が高まるよう取り組みをしていくことが必要である。</p>

(視察先の写真等がある場合)

松山市役所にて



政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	視察研修
実施日	2023年8月28.29日
参加議員	花岡豊一・村山弘子・斉藤 哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<p>コロナ架における中央行政の考え方及び現状を知る。 災害時の対応について新しい取り組みの調査研究</p>
--

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	電車賃	佐久平ー東京 3人	32,000
	宿泊料	@13,000×3名	39,000
	調査研究費	日 当 (@2,200×2日)×3名	13,200
研 修 費			
広 報 費			
広 聴 費			
要請・陳情活動費			
会 議 費			
合 計			84,200

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年8月28日 10時～12時
視察場所及び 部局等	東京臨海広域防災公園 そなエリア東京
視察事項	地震発生後72時間の生存力の力をつける体験型学習 国土交通省主催の現在最新の防災対策を知る
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>そなエリア東京は、地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアー「東京直下72hTOUR」を中心とした防災体験学習施設です。被災地や避難所の様子を再現した実物大のジオラマ展示があります。首都直下地震について、なぜ起きるのか？いつ、どのような被害想定なのかを紹介する首都直下地震特設コーナー、地震発生後生き抜くヒントや備えたいグッズの紹介もごさいます。また、首都直下地震発生時に緊急災害現地対策本部の候補地となるオペレーションルームも見学窓から見る事ができます。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>◎実際にリアルに東京直下型地震の体験がて来た。</p> <p>◎国土交通省主催の防災グッズ展や体験コーナーも当日は開催されており、実際に最新の防災グッズや、最新の機器で揺れの体験や避難の仕方を経験できた。</p> <p>◎防災カルタやアプリが開発されており日頃の心構えの大切さを知った。</p> <p>◎実際に災害が起きてからの72時間をどう過ごしたらよいか考えるきっかけになった。</p> <p>◎日頃の備えの大切さを知ることができた。</p> <p>◎国の施策として国土交通省中心の防災対策を考えていることを改めて知った。</p> <p>◎近いうちに大きな地震が起きる可能性の大きさを考えさせられた</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>東御市で大きな地震が起きた時、どう動けばよいのかを東御市レベルでしっかり、確認していきたいと感じたし、確認して行きたい。</p> <p>最新グッズは、いざという時に便利が物がたくさんあった。簡易トイレ、緊急の救急グッズ、履物、家具の押さえ等々日頃大切に備えつつ便利なものは市民や市に広め伝えて行きたいと感じた。</p> <p>東京直下型地震は、東京だけではなく、もちろん東御市にも影響はある。その時、どう動くのか議員としてしっかり市とも確認して行きたいと強く感じた。準備は大切。備えは大切。そう痛感した。</p>

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

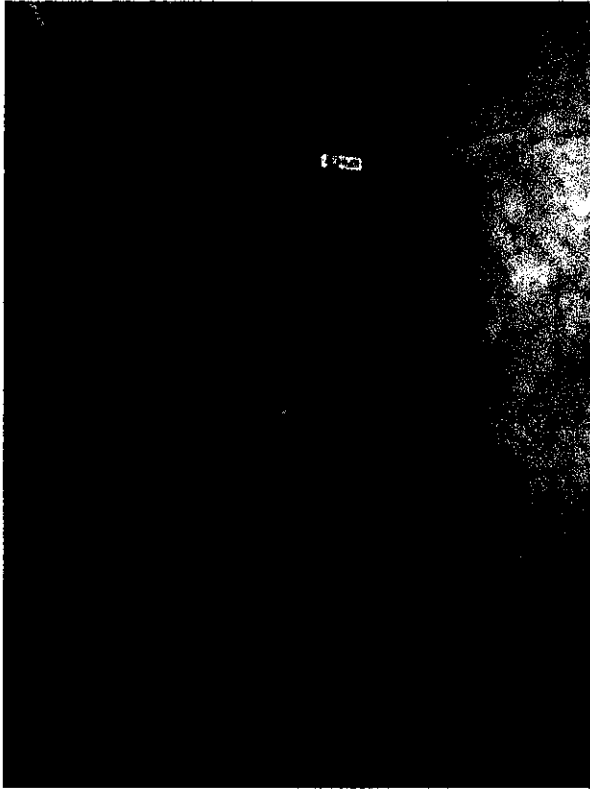
(No. 2)

実施日時	令和5年8月29日 9時～12時
視察場所及び 部局等	国会議事堂・文部科学省、議員会館 衆議院議員井出ようせい事務所
視察事項	国政の中心地における取組について。
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 国政の中心である国会議事堂、議員の活動の拠点となる隣接の議員会館事務所及び文部科学省副大臣執務室</p> <p>(2) 視察事項について 1. 子ども家庭庁の位置や文部科学省とのかかわり 2. 地方からの要望等についての対応の仕方(場所含む)や手順 3. 国政の審議する場や国会議員の一日の動き</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 国政を審議する場の国会を改めて視察すると、自分たちの審議の場である議会との、規模の違いはある。しかし、国民、市民に対して果たす役割が違うことはなく、職責の重さを重厚さとして改めて感じた。国会近くのビルに新設された子ども家庭庁は、各省庁から権限移項され構成されていることなどがあり、事業を進めるために調整が必要な部分があるとのこと、設置目的への事業推進には時間が必要と感じた。 文部科学省も一体的に本格的な支援活動がされるまでには少し時間がかかっているようである。現状として地方の取り組みとしては、示される施策を一体的な支援につなげるためにも、一つ一つ着実に市民に届けることが大事だと感じた。 国の施策に関して多くの方からの要望が寄せられ、対応をしていくことが求められている、地方からの要望等、議員としてそれぞれの部署につながりにも、要望されている相手の心情を聞く場としては議員会館の議員の部屋での対応が主となってくとのこと、また、内容によっては所管官庁の執務室での対応がされるとのことであった。 私たちの立場は市民の方からの信任を受けて今がある、その責務と重みを再認識することとなった。</p>

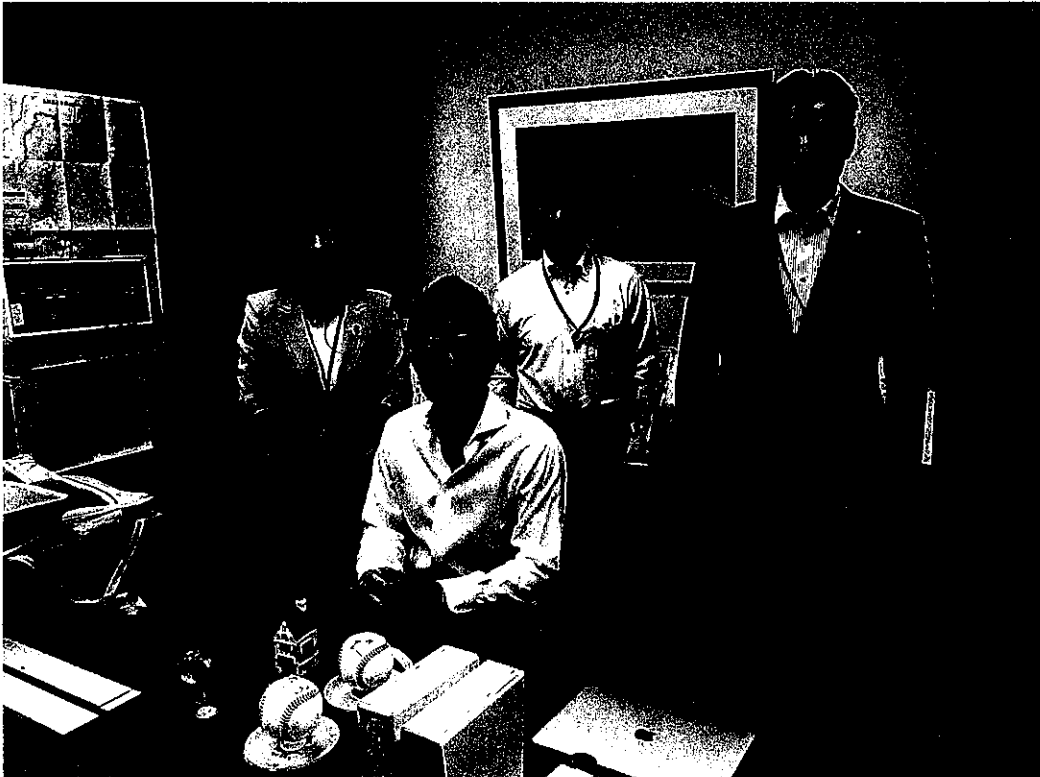
そなエリアにて



国会議事堂にて
議事堂内酸素室 (BOX)



衆議院会館事務所にて



政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	議会会派合同行政視察【富山県南砺市、石川県かほく市】
実施日	令和5年11月1日（水）～2日（木）
参加議員	花岡豊一、村山弘子、斉藤哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

自治体の人口減少が全国的な課題であり、東御市においても移住・定住施策は重点事業として取り組んでいる。今後の施策の参考とするため、先進的取り組みを行っている自治体の視察を実施した。

【南砺市】

・南砺市「副業」応援市民プロジェクトの効果と実績及び今後の交流人口創出に向けた施策について視察し、見識を深める。

【かほく市】

・移住・定住施策について、事業の実績及び取組状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○) ○	交通費	貸切バス代、有料道路代等 (@22,667円×3名)	68,001
調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@440円×3名)	1,320
研修費			
広報費	日当	宿泊料、日当 ((@13,000円+@2,200円×2日) × 3名)	52,200
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			121,521

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

(1) 視察先概要について記載)

(No. 1)

実施日時	実施日時 令和5年 11月1日 13時30分～15時00分
視察場所及び 部局等	南砺市役所 商工企業立地課
視察事項	南砺市「副業」市民応援プロジェクトについて
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 富山県の南西端に位置している。面積は668.64km²（東西約26キロ南北39キロ）で、そのうち約8割が白山国立公園等を含む森林であり自然に恵まれている。人口は令和5年8月現在47,209人世帯数12,548世帯老年人口割合39.45%少子高齢化が進んでいる。産業は第3次産業の就業者人口の割合は増加傾向、第2次産業は減少傾向にある。観光としては令和7年に世界遺産に登録された五箇山の合掌作り集落等がある。医療施設は2つの公立病院と4つの診療所が連携して地域医療を進めている。</p> <p>(2) 視察事項について ◎プロジェクト開始の経緯及び概平成28年10月より、南砺市を応援する人を登録し、市内のイベント等にボランティアで参加する「南砺市応援市民制度」において応援市民の更なる創出を図りたいとの意向があり、それが発展して「南砺市副業市民応援プロジェクト」事業を実施するに至った。 ◎プロジェクトの効果・実績について 1名がい移住に至った。しかし本事業では企業と副業・兼業人材との関係はビジネス上の関係であるため、なかなか地域とのかかわりを深める所までは至っていない。 ◎今後の人口流出に向けた取り組みについて 副業・兼業人材の活用によって、地元企業の魅力が向上している。今後、地元企業にUIJターンの雇用創出の場が創出されることを期待している。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 東御市でも今やっている東御市のファンを増やしていくことを大きなプロジェクトとして企業と組んでやってみたらいいのではないかと感じた。「副業」市民応援プロジェクトという事業名も魅力的に感じる。地方創成推進交付金を利用しての事業なので、市としてもこんな活用も考えて行く方向も良いかと思う。南砺市応援市民令和5年現在1128名。さらにいいなと思った活動は、学生を取り込んで事業を展開しているところ。学生サポーターのアイデアでいろんなことを予算を使ってやっていた。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

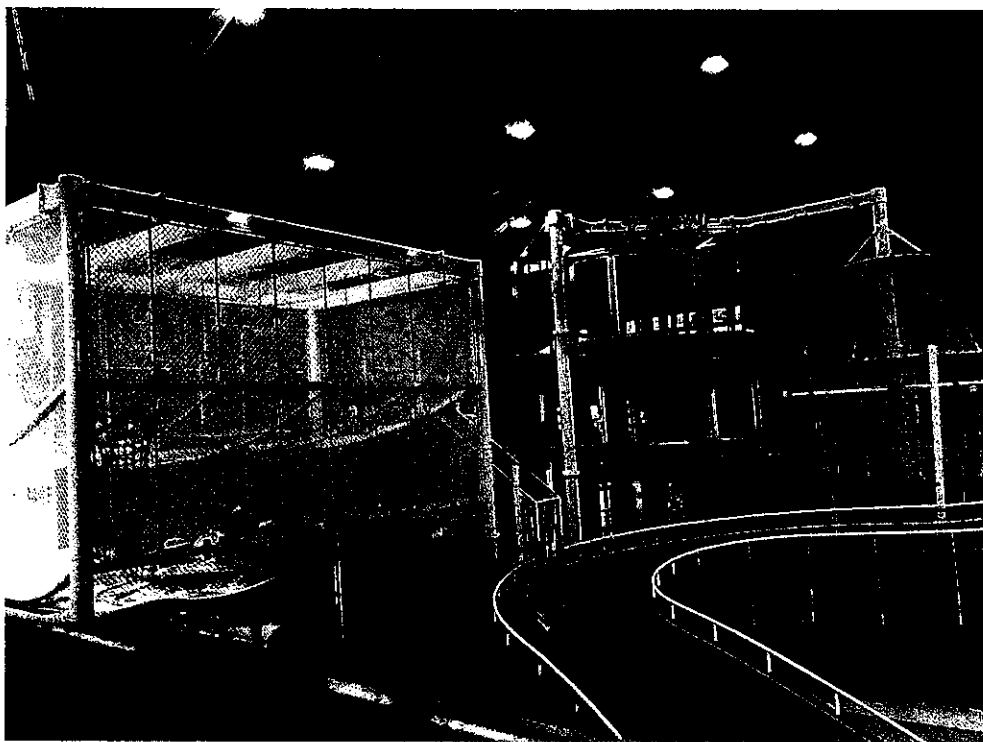
1) 視察先概要について記載)

(No2)

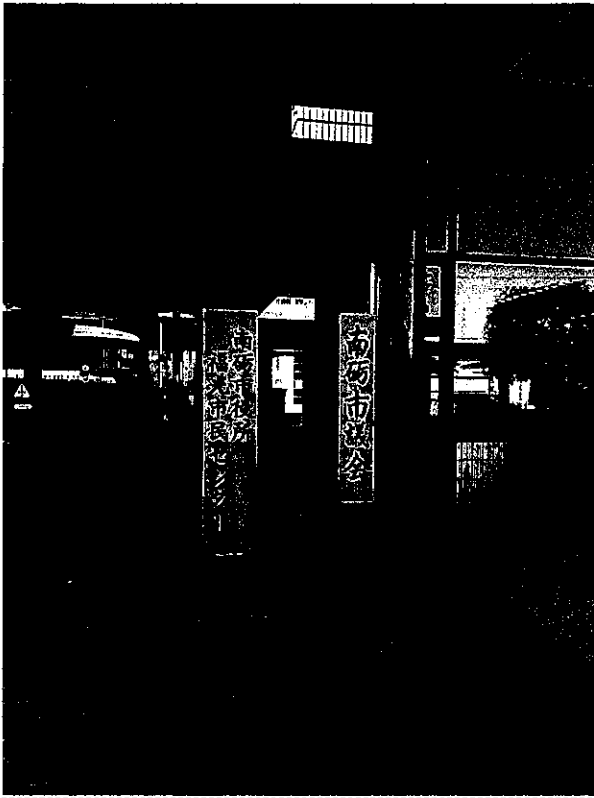
実施日時	実施日時 令和5年 11月 2日 10時00分～11時30分
視察場所及び 部局等	石川県かほく市役所 企画振興課
視察事項	移住・定住施策について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 石川県の中央、県都金沢市の北約 20 キロに位置し江戸時代には能登と加賀を結ぶ交通の要衝であった、明治時代以後繊維工業を主要産業として市街化が進んだ。市政施行は平成 16 年 3 月 1 日に 3 町が合併したことによる、人口は約 3 万 6000 人で第 3 次産業が就業人口の 6 割超である</p> <p>2) 視察事項について 移住定住施策の概要について 子育て世帯を対象とした取り組みの概要・成果について 今後の課題・取り組みの予定について。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 移住の窓口は内製で職員が 2 名で担当しシティプロモーション業務や移住支援金の交付業務も担当している。県の組織経由で相談が来ることも多い、他金沢市を中心とした周辺自治体と移住フェア等の連携をしている。 このような施策とともに人口増加の主な取り組みとして子育て世帯への取り組みが移住につながっていることがある。出生数の少なさをきっかけに若手職員でワーキンググループを作り若者向けの施策を展開し出生数を増してきている。子育て支援制度や住まいに関する補助金制度等の若者や子育て世代にとって魅力ある施策を展開してきていることは、住んでよかった子育て世代に選ばれる街となっていた。情報発信をターゲットごとに動画作成して市の PR することは視聴者の必要としていることや興味のニーズに合った情報を届けることとなり、効果は大きいと考えられる。 定住促進プロジェクトチームは部局横断の市職員により定住施策の調査検討がされている、当市でもプロジェクトチームは事業の内容により編成されている、人口減少の対策という大きな問題取り組みのプロジェクトチーム編成には至っていないのは現状と思われる。今後長期的に考えてこの問題は費用対効果の評価が見えにくいことであるが、長期的な目線で限られた財源を有効活用して、若者の移住と定住に取り組むことの若者プロジェクトチームは有効な取り組みであると感じた。</p>

かほく市にて

遊びの森 かほっくる



南砺市にて



政務活動記録簿

会派名	しんせいの会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	花岡豊一、村山弘子、斉藤哲

1 東御市における課題と研修・調査の目的

本会議における議案の採決に至るまでの経過や審議された内容等について、今後の議会活動や市政の調査研究に活用するとともに、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入した。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	6月定例会 会議録	2,826
	〃	9月定例会 会議録	3,345
調査研究費	〃	12月定例会 会議録	3,153
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			9,324

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと